



発行所 長岡新聞社
〒940-0071 長岡市表町2-3-1-2F
電話 0258-32-1933
FAX 0258-32-1934
HP http://www.naganews.or.jp/
E-mail naganews@crest.ocn.ne.jp

「頑張る」
「地元企業」

世界初 フロン漏えいの見える化

(株)ナンバ 「フロンキーパー」の普及に注力

冷凍・空調設備設計、施工の(株)ナンバ(長岡市三島新保)は、冷凍機からのフロン漏えいを「見える化」したシステム「フロンキーパー」を開発した。世界初となる快挙で同社では、普及に力を入れている。

同社の難波昇一社長は「フロンガスは今までたくさん使われている。個人には今後もフロンガスを」といふ。現在「フロンキーパー」は世界的に例がないシステムである」と自負する。現在は「普及に全力を尽くした」と意気込む。

新法では設備使用者にも報告義務あり

フロンキーパーは、業務用の冷凍設備や空調機のフロン漏えいを検知できるシステム。同社が2012年に発表した。

冷凍・空調機の冷媒としてフロンが長年にわたり使用されてきたが、オゾン層を破壊することなどが分り、1990年代から使用が控えられるようになった。しかし、代わり

に普及した代替フロンにも極めて高い温室効果があることが分り、先進国では2020年までに生産が中止されることになっている。



フロンキーパーを手にする難波専務

これを受けて、「フロン回収・破壊法」(特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律)が昨年4月に全面改正され、新法「フロン排出抑制法」(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)として施行になっている。新法により設備使用者にもフロン漏えい量や補充量の報告義務などがつき、

これまでになかったフロン漏えい測定システムを開発

フロン漏えいは地球環境に悪影響を与えるだけでなく、初期充填量から30%漏えいすることで電力使用量が平均40%上昇する。使用者の損失も大きい。しかし、フロン漏えい量を測定するシステムを開発

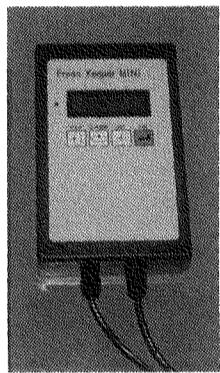
フロン漏えいは地球環境に悪影響を与えるだけでなく、初期充填量から30%漏えいすることで電力使用量が平均40%上昇する。使用者の損失も大きい。しかし、フロン漏えい量を測定するシステムを開発

フロン漏えいは地球環境に悪影響を与えるだけでなく、初期充填量から30%漏えいすることで電力使用量が平均40%上昇する。使用者の損失も大きい。しかし、フロン漏えい量を測定するシステムを開発

フロン漏えいは地球環境に悪影響を与えるだけでなく、初期充填量から30%漏えいすることで電力使用量が平均40%上昇する。使用者の損失も大きい。しかし、フロン漏えい量を測定するシステムを開発

フロン漏えいは地球環境に悪影響を与えるだけでなく、初期充填量から30%漏えいすることで電力使用量が平均40%上昇する。使用者の損失も大きい。しかし、フロン漏えい量を測定するシステムを開発

フロン漏えいは地球環境に悪影響を与えるだけでなく、初期充填量から30%漏えいすることで電力使用量が平均40%上昇する。使用者の損失も大きい。しかし、フロン漏えい量を測定するシステムを開発



新製品のフロンキーパーミニ

休刊のお知らせ

21日は新聞製作を休みます。このため、22日(火)の新聞は休刊とさせていただきます。ご了承ください。

長岡新聞社

管理責任が求められるようになった。

このためフロンキーパーは依然スーパーや食品関連企業から注目を集めている。

「10年保証」を業界に先駆けて実施

同社は1972年に難波冷凍工業として創業。当初は冷凍・冷蔵工事とメンテナンスを中心としていた。現在は業務用から家庭用までの空調設備

を幅広く取り扱っている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

フロンキーパーは、タンクにたまった液体フロンの高さを把握し、漏えい量を分かるようにしている。12年の発表以来改良を続けており、気温などによる季節変動への対応も可能。15%程度の漏えいでも早期発見ができるようになった。データ計測により、漏れた量が分かるため、補充時に必要な量という話も出てきている」と喜ぶ。

や電気、ガス、家庭用電化の設計、施工などを幅広く手掛けている。2002年には、自社施工物件での空調機や冷凍機の故障などについて設置から10年間無料で点検・保証するという「10年保証」を業界に先駆けて実施した。

難波社長は、一般社団法人「新潟県フロン回収事業協会」の会長を務めるなどフロン回収に力を入れてきた。そうした中でフロンが漏えいした際に、早期に判明するシステムが重要と考えて、その開発に取り組んできた。

フロンキーパーの創出は同社の新商品開発への意欲的な研究成果である。

同社の難波専務は「展示会などでは興味を持ってもらえるが、そこから先にはなかなかすすまなかった」としながらも、「とりあえず一店舗に導入してくれた先から、効果ありとして全店舗にという話も出てきている」と喜ぶ。

昨年4月の新法の全面施行から問い合わせも増えてきており、「さらに営業に力を入れたい」と話す。国内だけでなく米国のスーパーへの採用予定も出ており、今後のさらなる普及拡大も期待されている。

ここで、フロンの量を表しやすいものにしていきたい。導入して良かったと言われるように全力でやっていきたい」と意欲を高めている。

ここで、フロンの量を表しやすいものにしていきたい。導入して良かったと言われるように全力でやっていきたい」と意欲を高めている。

ここで、フロンの量を表しやすいものにしていきたい。導入して良かったと言われるように全力でやっていきたい」と意欲を高めている。

ここで、フロンの量を表しやすいものにしていきたい。導入して良かったと言われるように全力でやっていきたい」と意欲を高めている。

ここで、フロンの量を表しやすいものにしていきたい。導入して良かったと言われるように全力でやっていきたい」と意欲を高めている。